

2023年度第2四半期 決算補足説明資料

－ 2023年11月6日 －

京王電鉄株式会社

業績サマリ

2023年度第2四半期実績

- ホテル業が好調に推移するなど、すべてのセグメントで対前年増収となり、営業収益は1,840億円
- すべてのセグメントで前年と比べて改善し、営業利益は239億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は172億円
- 対前回予想では、営業収益は運輸業、流通業、レジャー・サービス業で想定を上回り、37億円の増収、営業利益はすべてのセグメントで想定を上回り54億円の増益

2023年度通期の業績予想

- 訪日外国人旅行客の増加や国内需要の回復により、営業収益は3,930億円（対前回予想+50億円）、営業利益は360億円（対前回予想+30億円）を見込む
- 固定資産除却損の増加などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は252億円（前回予想と同額）を見込む
- 年間配当金は1株につき45.0円を予定

I. 2023年度第2四半期実績

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）
8. 営業外・特別損益
9. 連結貸借対照表
10. 連結キャッシュ・フロー計算書

1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度第2四半期の業績				
	2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）	2023年度 第2四半期 予想 <small>(2023.8.2公表ベース)</small>	予想差異（差異率）
営業収益	1,588	1,840	252（15.9）	1,803	37（2.1）
営業利益	94	239	144（153.9）	184	54（29.9）
経常利益	95	235	140（146.4）	176	59（33.7）
親会社株主に帰属する四半期純利益	42	172	129（305.3）	129	42（32.4）
EBITDA	236	383	146（62.0）	331	51（15.6）
減価償却費	142	143	1（0.9）	146	△3（△2.2）
資本的支出	177	116	△60（△34.4）	—	—（—）

※EBITDAは、営業利益＋減価償却費＋のれん償却額により算出している。

2. セグメント別の概況

- ホテル業が好調に推移するなど、すべてのセグメントで対前年増収
- 営業利益はすべてのセグメントで前年と比べて改善
- 対前回予想では、営業利益はすべてのセグメントで想定を上回る

(単位：億円、%)

		2023年度第2四半期の業績				
		2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	前年増減 (増減率)	2023年度 第2四半期 予想 <small>(2023.8.2公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
営業 収益	運 輸 業	546	601	54 (10.1)	587	13 (2.3)
	流 通 業	480	528	47 (9.9)	517	11 (2.1)
	不 動 産 業	222	239	16 (7.5)	251	△ 12 (△ 5.0)
	レジャー・サービス業	216	341	125 (58.0)	327	14 (4.4)
	そ の 他 業	253	268	15 (6.0)	287	△ 18 (△ 6.5)
	連 結 修 正	△ 130	△ 138	△ 7 (—)	△ 167	29 (—)
	連 結	1,588	1,840	252 (15.9)	1,803	37 (2.1)
営業 利益	運 輸 業	46	88	42 (92.8)	75	13 (17.7)
	流 通 業	10	28	18 (172.6)	17	11 (64.7)
	不 動 産 業	57	65	7 (13.1)	53	11 (21.9)
	レジャー・サービス業	△ 31	44	76 (—)	31	13 (43.2)
	そ の 他 業	11	11	0 (1.0)	6	4 (62.5)
	連 結 修 正	△ 0	△ 0	△ 0 (—)	△ 0	0 (—)
	連 結	94	239	144 (153.9)	184	54 (29.9)

2. セグメント別の概況（四半期別）

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2023年度 第1四半期実績 (4~6月)	2023年度 第2四半期実績 (7~9月)	2023年度 第2四半期累計 (4~9月)	2023年度 第1四半期実績 (4~6月)	2023年度 第2四半期実績 (7~9月)	2023年度 第2四半期累計 (4~9月)
運 輸 業	298	302	601	46	42	88
流 通 業	268	260	528	17	11	28
不 動 産 業	113	125	239	31	34	65
レジャー・サービス業	159	181	341	20	24	44
そ の 他 業	113	154	268	3	7	11
連 結 修 正	△66	△71	△138	0	△0	△0
連 結	887	952	1,840	119	119	239

3. セグメント情報（運輸業）

- 鉄道事業では、前年同期と比べて輸送人員の回復が進み、旅客運輸収入が増収
- バス事業においても、路線・高速などで増収

(単位：億円、%)

	2023年度第2四半期の業績		
	2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	546	601	54（10.1）
（鉄道事業）	349	378	28（8.3）
（バス事業）	157	181	23（15.2）
（タクシー業）	54	51	△2（△4.9）
（その他）	11	12	0（4.8）
（消去）	△26	△22	4（—）
営業利益	46	88	42（92.8）
（鉄道事業）	41	62	20（49.4）
（バス事業）	2	25	22（806.0）
E B I T D A	126	169	42（34.1）
減価償却費	80	80	0（0.3）
資本的支出	56	53	△2（△5.1）

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業運輸成績

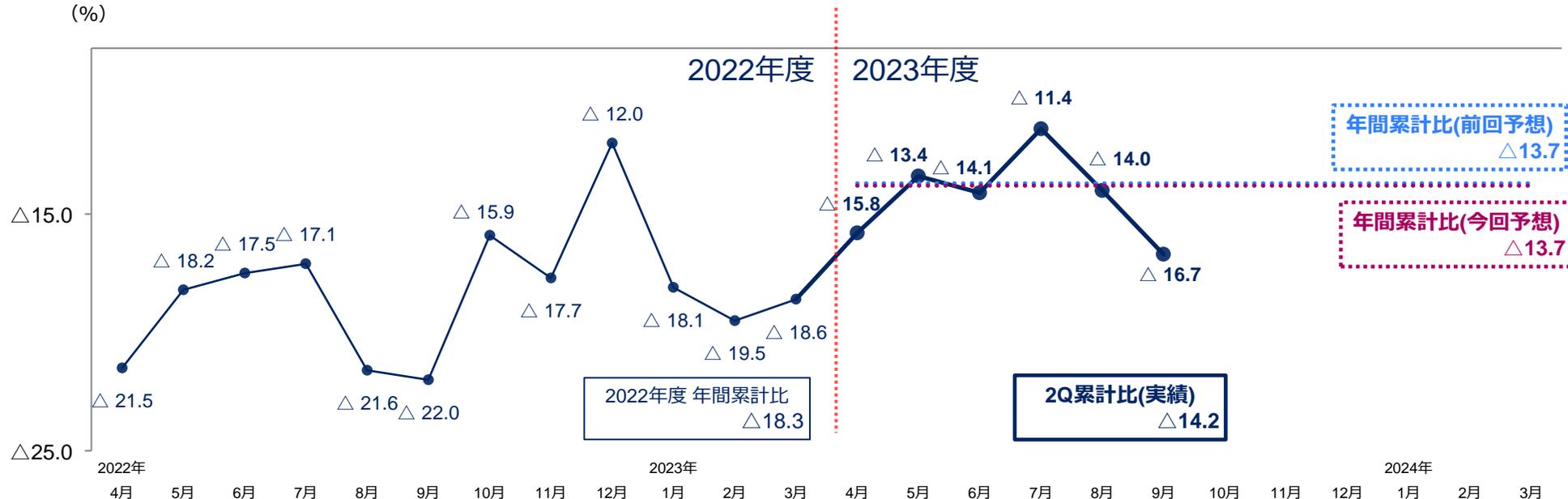
(単位：千人、百万円、%)

		2023年度第2四半期の業績		
		2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
輸 送 人 員	定 期	156,780	163,522	6,742 (4.3)
	(通 勤)	115,016	120,015	4,999 (4.3)
	(通 学)	41,764	43,507	1,743 (4.2)
	定 期 外	118,808	130,530	11,722 (9.9)
	合 計	275,588	294,052	18,464 (6.7)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	13,260	13,831	571 (4.3)
	(通 勤)	11,712	12,228	516 (4.4)
	(通 学)	1,548	1,603	54 (3.5)
	定 期 外	19,718	21,805	2,086 (10.6)
	合 計	32,979	35,637	2,657 (8.1)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 輸送人員合計 対2018年度同月比の推移

(%)



2023年度 鉄道輸送人員（対2018年度比）

(単位：%)

(参考)

	4月	5月	6月	1Q累計	7月	8月	9月	2Q累計	2022年度 通期
定期計	△23.1	△19.3	△19.7	△20.7	△17.2	△20.3	△24.1	△20.6	△23.4
通勤	△23.1	△23.5	△23.4	△23.4	△21.4	△22.4	△22.7	△22.8	△26.1
通学	△22.9	△7.2	△9.2	△13.1	△3.7	△11.7	△27.9	△14.0	△14.7
定期外	△5.2	△4.5	△5.2	△4.9	△2.6	△5.3	△5.4	△4.7	△10.8
合計	△15.8	△13.4	△14.1	△14.4	△11.4	△14.0	△16.7	△14.2	△18.3

4. セグメント情報（流通業）

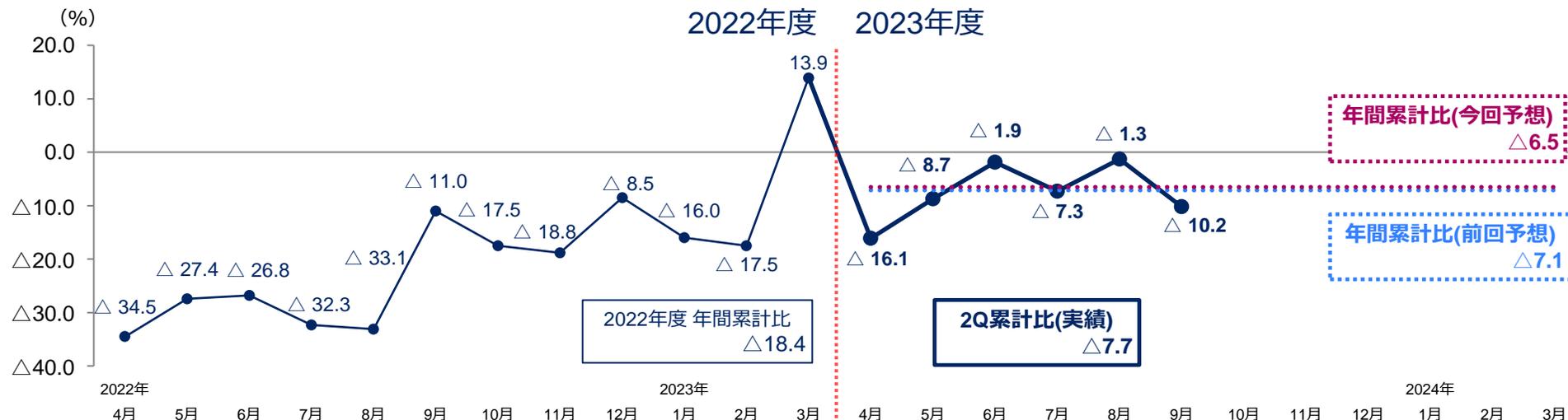
- 百貨店業では、前年同期と比べて人流の回復が進み、増収
- ストア業では、スーパーマーケット事業およびコンビニ事業が好調に推移し、増収

(単位：億円、%)

	2023年度第2四半期の業績		
	2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	480	528	47 (9.9)
（百貨店業）	131	155	23 (18.1)
（ストア業）	235	256	20 (8.8)
（ショッピングセンター事業）	73	75	1 (2.5)
（その他）	68	70	1 (1.8)
（消去）	△ 29	△ 28	0 (—)
営業利益	10	28	18 (172.6)
（百貨店業）	△ 12	△ 0	12 (—)
（ストア業）	6	10	4 (70.9)
（ショッピングセンター事業）	19	19	0 (1.0)
E B I T D A	27	48	20 (72.9)
減価償却費	17	19	2 (12.1)
資本的支出	38	7	△ 31 (△ 79.7)

4. セグメント情報 (流通業)

百貨店業 新宿店売上高 対2018年度同月比の推移 (「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算)



ストア業 売上高 対2018年度同月比の推移 (「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算)



5. セグメント情報（不動産業）

- 不動産賃貸業では、前年同期並みに推移
- 不動産販売業では、リノベーション物件の売上増などにより増収

(単位：億円、%)

	2023年度第2四半期の業績		
	2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	222	239	16 (7.5)
（不動産賃貸業）	187	193	5 (3.1)
（不動産販売業）	71	77	5 (8.0)
（その他）	14	22	7 (51.8)
（消去）	△ 51	△ 54	△ 2 (—)
営業利益	57	65	7 (13.1)
（不動産賃貸業）	53	53	△ 0 (△ 0.2)
（不動産販売業）	6	7	1 (22.1)
E B I T D A	81	88	7 (9.3)
減価償却費	23	23	△ 0 (△ 0.1)
資本的支出	53	19	△ 34 (△ 63.5)

6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

- ホテル業では、訪日外国人旅行客の宿泊需要の取り込みなどにより、「京王プラザホテル（新宿）」や「京王プレッソイン」などの客室単価が、コロナ禍以前を上回る水準まで大きく回復し増収

(単位：億円、%)

	2023年度第2四半期の業績		
	2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	216	341	125 (58.0)
（ホテル業）	164	264	99 (60.5)
（旅行業）	37	51	14 (38.2)
（広告代理業）	30	34	4 (13.4)
（その他）	28	31	2 (7.3)
（消去）	△45	△40	5 (—)
営業利益	△31	44	76 (—)
（ホテル業）	△25	46	71 (—)
E B I T D A	△10	64	75 (—)
減価償却費	20	19	△1 (△5.0)
資本的支出	8	7	△1 (△15.4)

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 売上高 対2018年度同月比の推移



ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 客室稼働率の推移



7. セグメント情報（その他業）

■ 車両整備業では、受注増などにより増収

(単位：億円、%)

	2023年度第2四半期の業績		
	2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	253	268	15 (6.0)
（ビル総合管理業）	109	111	1 (1.7)
（車両整備業）	27	37	9 (34.5)
（建築・土木業）	79	80	1 (2.3)
（その他）	45	47	1 (3.3)
（消去）	△ 8	△ 7	0 (—)
営業利益	11	11	0 (1.0)
（ビル総合管理業）	7	6	△ 0 (△ 3.8)
（車両整備業）	1	3	2 (195.0)
（建築・土木業）	2	0	△ 2 (△ 95.7)
E B I T D A	13	14	0 (4.2)
減価償却費	2	2	0 (2.1)
資本的支出	1	6	4 (317.7)

8. 営業外・特別損益

(単位：億円)

	2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	増減	増減要因
営業収益	1,588	1,840	252	
営業利益	94	239	144	
営業外収益	18	13	△4	助成金等収入△8億円
営業外費用	16	16	△0	
経常利益	95	235	140	
特別利益	6	2	△4	工事負担金等受入額△3億円
特別損失	9	3	△6	固定資産圧縮損△3億円
法人税等	50	62	12	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	42	172	129	

9. 連結貸借対照表

- 総資産は、販売用不動産の取得による棚卸資産の増加や有形固定資産の増加などにより増加
- 負債は、借入金の増加や資産除去債務の計上などにより増加
- 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより増加

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 第2四半期 実績	増減	増減要因
流動資産	1,828	1,964	135	現金及び預金+82億円、商品及び製品+64億円、仕掛品+45億円
固定資産	7,723	7,911	188	投資有価証券+121億円、有形固定資産+86億円
総資産	9,552	9,875	323	
流動負債	2,194	2,131	△62	
固定負債	3,842	3,973	131	資産除去債務+107億円、長期借入金+46億円
負債	6,036	6,105	68	
純資産	3,515	3,770	255	利益剰余金+147億円、その他有価証券評価差額金+82億円
負債及び純資産	9,552	9,875	323	

有利子負債	4,026	4,093	67
自己資本比率	36.8%	38.2%	1.4P

(注) 有利子負債は、借入金 + 社債により算出している。

10. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2022年度 第2四半期 実績	2023年度 第2四半期 実績	増減	備考
営業活動 キャッシュ・フロー	165	308	143	税金等調整前四半期純利益+235億円 減価償却費+143億円
投資活動 キャッシュ・フロー	△226	△258	△32	有形及び無形固定資産の取得による支出△297億円
フリーキャッシュ・フロー (営業CF+投資CF)	△61	49	110	
財務活動 キャッシュ・フロー	66	32	△33	長期借入れによる収入+100億円
現金及び 現金同等物の 期末残高	678	792	113	

Ⅱ. 2023年度通期の業績予想

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）

II. 2023年度通期の業績予想

1. 連結損益計算書

- 訪日外国人旅行客の増加や国内需要の回復により、運輸業、流通業、レジャー・サービス業が想定以上に好調に推移
- 固定資産除却損の増加などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表値と同額を見込む

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減 (増減率)	2023年度 前回予想 <small>(2023.8.2公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
営業収益	3,471	3,930	458 (13.2)	3,880	50 (1.3)
営業利益	214	360	145 (67.6)	330	30 (9.1)
経常利益	217	352	134 (61.7)	317	35 (11.0)
親会社株主に帰属する当期純利益	131	252	120 (92.2)	252	— (—)
E B I T D A	506	669	163 (32.3)	644	25 (3.9)
減価償却費	291	308	17 (5.9)	313	△ 4 (△ 1.5)
資本的支出	528	675	147 (27.8)	675	— (—)

1. 連結損益計算書（下期予想）

(単位：億円)

	2023年度 上期実績 (4~9月)	2023年度 下期予想 (10~3月)	2023年度 通期予想 (4~3月)
営 業 収 益	1,840	2,089	3,930
営 業 利 益	239	120	360
経 常 利 益	235	116	352
親会社株主に帰属する当期純利益	172	79	252
E B I T D A	383	286	669
減 価 償 却 費	143	164	308

2. セグメント別の概況

(単位：億円、%)

		2023年度通期の業績予想				
		2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減 (増減率)	2023年度 前回予想 <small>(2023.8.2公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
営業 収益	運 輸 業	1,111	1,224	112 (10.1)	1,209	14 (1.2)
	流 通 業	1,028	1,094	66 (6.4)	1,075	18 (1.7)
	不 動 産 業	528	575	46 (8.9)	527	48 (9.1)
	レジャー・サービス業	527	695	168 (31.9)	687	7 (1.1)
	そ の 他 業	647	769	122 (18.9)	785	△ 15 (△ 2.0)
	連 結 修 正	△ 371	△ 429	△ 57 (—)	△ 405	△ 23 (—)
	連 結	3,471	3,930	458 (13.2)	3,880	50 (1.3)
営業 利益	運 輸 業	39	115	76 (195.0)	109	6 (6.0)
	流 通 業	39	48	8 (22.7)	35	12 (36.2)
	不 動 産 業	120	105	△ 15 (△ 12.4)	104	1 (1.8)
	レジャー・サービス業	△ 21	59	81 (—)	50	9 (18.6)
	そ の 他 業	44	44	△ 0 (△ 0.2)	44	— (—)
	連 結 修 正	△ 7	△ 14	△ 6 (—)	△ 13	△ 0 (—)
	連 結	214	360	145 (67.6)	330	30 (9.1)

2. セグメント別の概況（下期予想）

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2023年度 上期実績 (4～9月)	2023年度 下期予想 (10～3月)	2023年度 通期予想 (4～3月)	2023年度 上期実績 (4～9月)	2023年度 下期予想 (10～3月)	2023年度 通期予想 (4～3月)
運 輸 業	601	623	1,224	88	27	115
流 通 業	528	566	1,094	28	19	48
不 動 産 業	239	335	575	65	40	105
レジャー・サービス業	341	354	695	44	14	59
そ の 他 業	268	501	769	11	33	44
連 結 修 正	△ 138	△ 291	△ 429	△ 0	△ 14	△ 14
連 結	1,840	2,089	3,930	239	120	360

3. セグメント情報（運輸業）

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>(2023.8.2公表ベース)</small>	予想差異（差異率）
営業収益	1,111	1,224	112（ 10.1）	1,209	14（ 1.2）
（鉄道事業）	710	790	79（ 11.2）	788	2（ 0.3）
（バス事業）	317	350	32（ 10.4）	337	13（ 4.0）
（タクシ業）	106	102	△ 3（ △ 3.3）	103	△ 1（ △ 1.0）
（その他）	24	25	1（ 5.1）	24	0（ 1.9）
（消去）	△ 47	△ 45	1（ — ）	△ 45	△ 0（ — ）
営業利益	39	115	76（ 195.0）	109	6（ 6.0）
（鉄道事業）	29	88	59（ 203.4）	85	2（ 2.7）
（バス事業）	6	22	16（ 258.2）	15	7（ 49.4）
E B I T D A	203	287	83（ 41.0）	281	5（ 2.0）
減価償却費	164	171	6（ 4.2）	172	△ 0（ △ 0.5）
資本的支出	246	412	166（ 67.3）	412	—（ — ）

3. セグメント情報（運輸業）

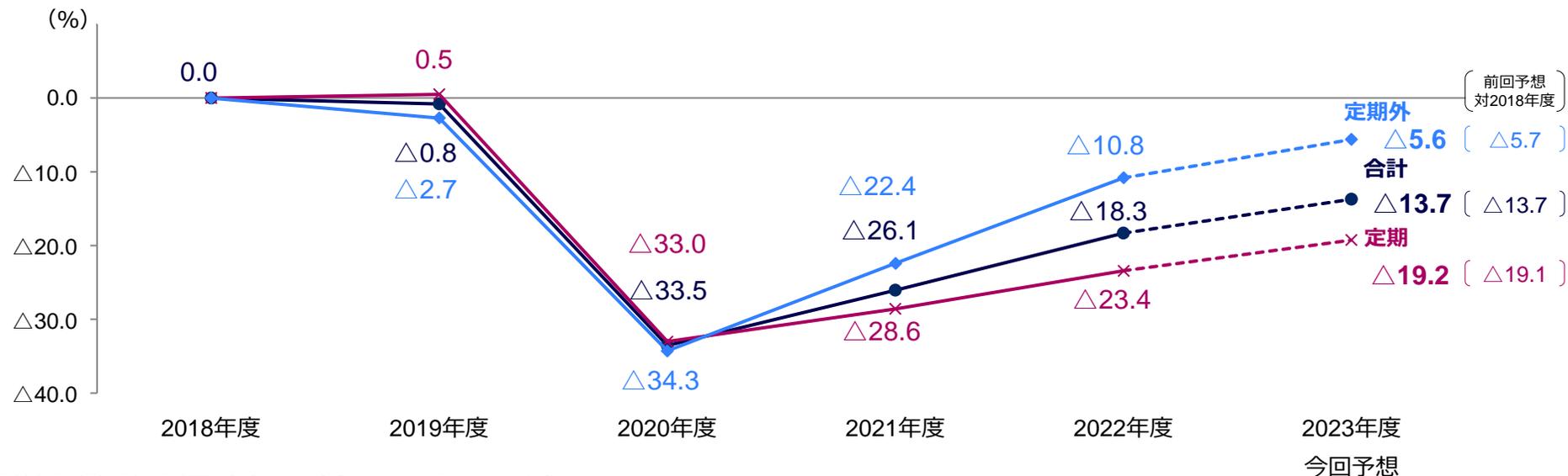
鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

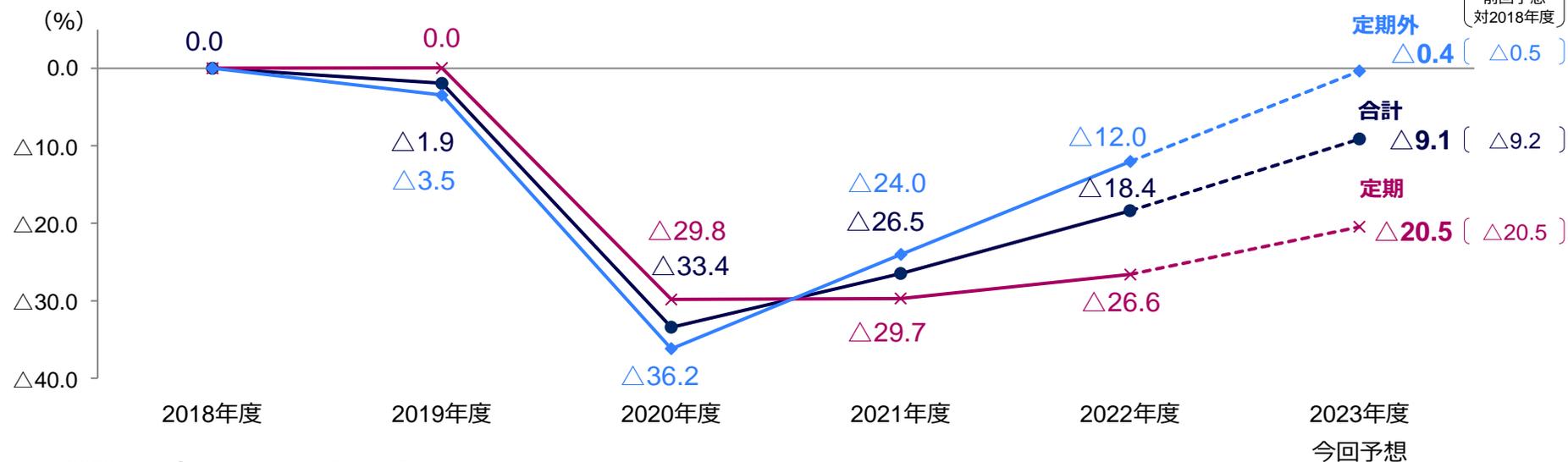
		2023年度通期の業績予想				
		2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>(2023.8.2公表ベース)</small>	予想差異（差異率）
輸 送 人 員	定 期	308,409	325,212	16,803 (5.4)	325,709	△ 497 (△ 0.2)
	(通 勤)	228,617	237,399	8,782 (3.8)	237,128	271 (0.1)
	(通 学)	79,792	87,813	8,021 (10.1)	88,581	△ 768 (△ 0.9)
	定 期 外	245,480	259,851	14,371 (5.9)	259,508	343 (0.1)
	合 計	553,889	585,063	31,174 (5.6)	585,217	△ 154 (△ 0.0)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	26,311	28,509	2,198 (8.4)	28,505	3 (0.0)
	(通 勤)	23,352	25,249	1,896 (8.1)	25,221	28 (0.1)
	(通 学)	2,958	3,260	301 (10.2)	3,284	△ 24 (△ 0.7)
	定 期 外	40,819	46,229	5,409 (13.3)	46,167	61 (0.1)
	合 計	67,130	74,738	7,608 (11.3)	74,673	65 (0.1)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 輸送人員 対2018年度増減率



鉄道事業 旅客運輸収入 対2018年度増減率



4. セグメント情報（流通業）

（単位：億円、％）

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>（2023.8.2公表ベース）</small>	予想差異（差異率）
営業収益	1,028	1,094	66（6.4）	1,075	18（1.7）
（百貨店業）	310	341	30（9.8）	346	△4（△1.4）
（ストア業）	483	516	33（6.9）	494	22（4.6）
（ショッピングセンター事業）	148	148	△0（△0.2）	146	1（1.1）
（その他）	143	146	2（1.6）	147	△1（△1.2）
（消去）	△58	△58	0（—）	△58	0（—）
営業利益	39	48	8（22.7）	35	12（36.2）
（百貨店業）	△5	7	12（—）	3	4（133.3）
（ストア業）	10	15	4（38.2）	8	6（76.5）
（ショッピングセンター事業）	38	28	△9（△25.1）	25	3（12.2）
E B I T D A	75	94	19（26.3）	84	9（11.7）
減価償却費	35	46	10（30.1）	49	△2（△5.8）
資本的支出	57	44	△13（△22.8）	44	—（—）

5. セグメント情報（不動産業）

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>(2023.8.2公表ベース)</small>	予想差異（差異率）
営業収益	528	575	46（ 8.9）	527	48（ 9.1）
（不動産賃貸業）	375	396	20（ 5.6）	384	11（ 3.0）
（不動産販売業）	219	259	40（ 18.6）	244	15（ 6.4）
（その他）	35	41	6（ 17.0）	37	4（ 11.8）
（消去）	△ 101	△ 122	△ 20（ — ）	△ 138	16（ — ）
営業利益	120	105	△ 15（ △ 12.4）	104	1（ 1.8）
（不動産賃貸業）	97	84	△ 13（ △ 13.9）	88	△ 3（ △ 4.5）
（不動産販売業）	25	16	△ 8（ △ 34.0）	10	6（ 63.0）
E B I T D A	168	154	△ 13（ △ 8.3）	153	0（ 0.4）
減価償却費	47	48	1（ 2.3）	49	△ 1（ △ 2.5）
資本的支出	197	130	△ 66（ △ 33.7）	130	—（ — ）

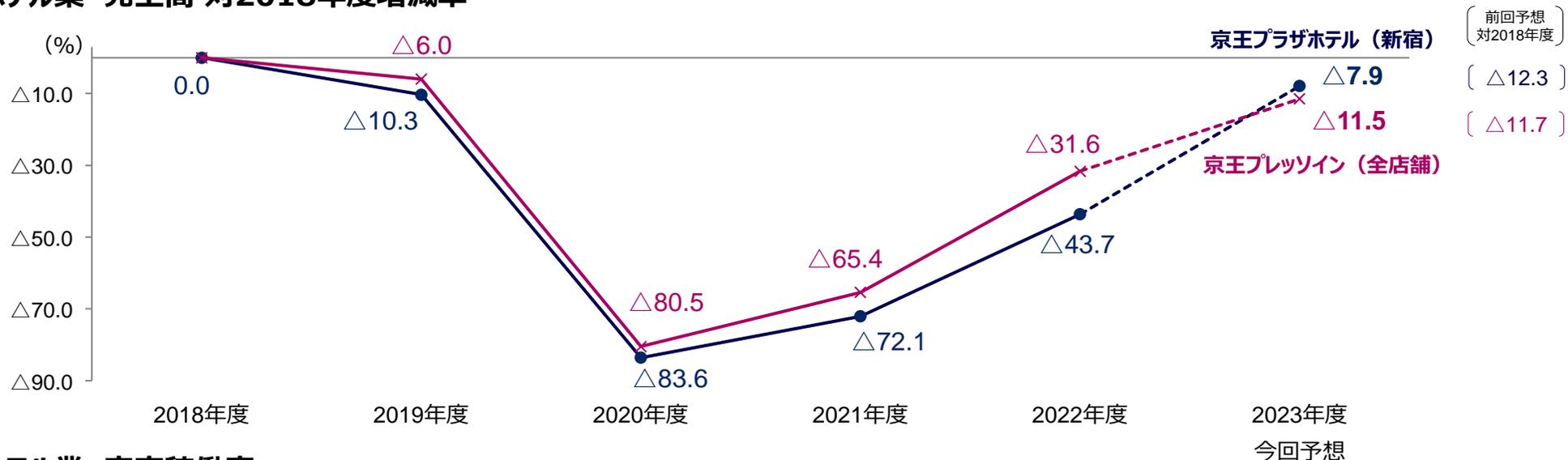
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：億円、％）

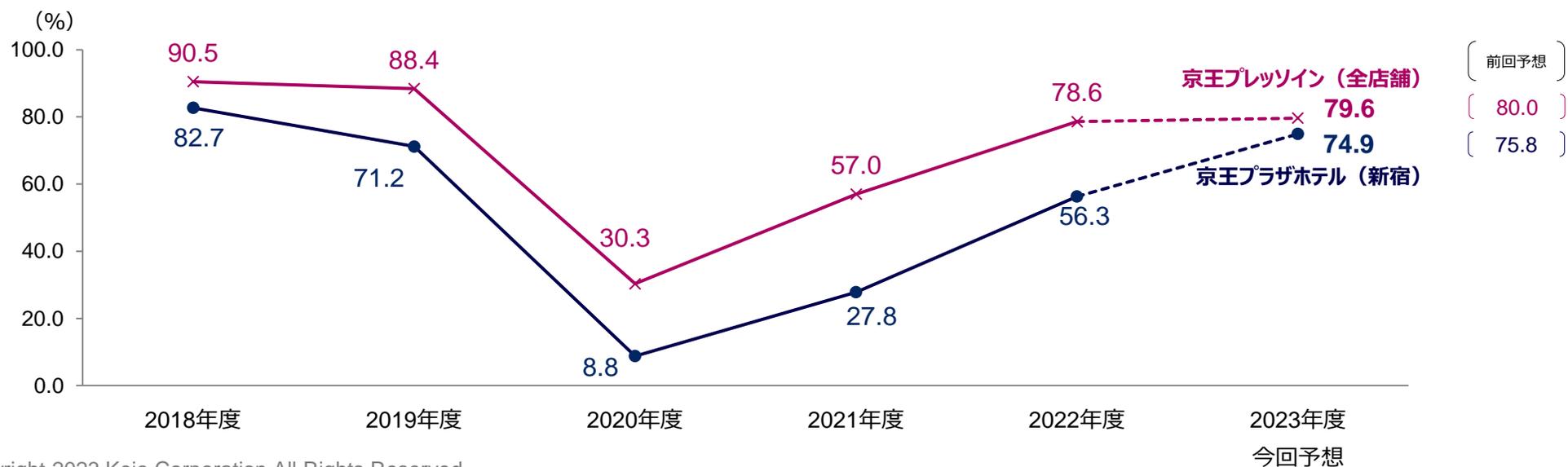
	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>（2023.8.2公表ベース）</small>	予想差異（差異率）
営業収益	527	695	168（31.9）	687	7（1.1）
（ホテル業）	394	526	132（33.5）	503	22（4.4）
（旅行業）	78	108	29（37.9）	112	△4（△4.1）
（広告代理業）	80	84	3（4.9）	99	△14（△15.0）
（その他）	58	61	3（5.3）	60	0（1.5）
（消去）	△83	△84	△0（－）	△88	4（－）
営業利益	△21	59	81（－）	50	9（18.6）
（ホテル業）	△15	55	70（－）	38	17（44.7）
E B I T D A	20	99	79（390.6）	90	9（10.3）
減価償却費	42	40	△2（△4.8）	40	△0（△0.1）
資本的支出	26	70	43（163.9）	70	－（－）

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 売上高 対2018年度増減率



ホテル業 客室稼働率



7. セグメント情報（その他業）

（単位：億円、％）

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度 実績	2023年度 今回予想	前年増減（増減率）	2023年度 前回予想 <small>（2023.8.2公表ベース）</small>	予想差異（差異率）
営業収益	647	769	122（ 18.9）	785	△ 15（ △ 2.0）
（ビル総合管理業）	263	271	7（ 3.0）	260	11（ 4.3）
（車両整備業）	76	90	14（ 18.6）	93	△ 2（ △ 2.7）
（建築・土木業）	235	332	97（ 41.1）	364	△ 31（ △ 8.7）
（その他）	94	98	4（ 5.1）	98	0（ 0.8）
（消去）	△ 23	△ 24	△ 1（ — ）	△ 30	6（ — ）
営業利益	44	44	△ 0（ △ 0.2）	44	—（ — ）
（ビル総合管理業）	22	22	△ 0（ △ 0.3）	18	3（ 19.3）
（車両整備業）	7	8	1（ 19.6）	8	△ 0（ △ 3.2）
（建築・土木業）	15	15	0（ 0.5）	16	△ 1（ △ 6.6）
E B I T D A	49	50	1（ 3.1）	50	0（ 0.4）
減価償却費	4	5	0（ 9.1）	4	0（ 4.7）
資本的支出	3	25	21（ 616.9）	25	—（ — ）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。